

令和4年度 立山地区町政懇談会（第1回）

日時：令和4年8月29日（月）

午後7時～8時

場所：岩嶺公民館

1 挨拶 立山町長 舟橋 貴之

2 懇談会

(1) 町からのお知らせ

①吉原用水の改修について 【1ページ】
(農林課)

②東中野新地内土地改良の進捗について 【2ページ】
(農林課)

③燃やせないごみの収集について 【3ページ】
(住民課)

(2) 意見交換

3 閉会

吉原用水の改修事業の進捗について

吉原用水は、千垣・横江・天林の3集落の農業用水として70年以上のもの間、農業用水並びに生活用水として利用されており、立山地区にとって重要な水利施設の一つです。

吉原用水の改修については、過去より立山地区区長会長等からの要望を受け、用水の取水口を中心に、地元関係者と町とで、現地確認を重ねてまいりました。

吉原用水を改修する事業規模の大きさ、施設の老朽化の程度及び技術的な課題などを考慮した場合、県のバックアップが必要であることから、令和2年8月、県へ「要望書」を提出した経緯があります。

現在、町が県の支援のもと、国の事業採択に向けた取り組みを継続しているところです。引き続き、県及び用水管理者等の関係機関と連携し、町の重点要望にも位置づけながら、早期に事業採択となるよう努めてまいります。

■これまでの取り組み■

- ・令和2年8月24日 県へ「要望書」提出
- ・令和2年10月～令和3年3月
県、「県単独農業農村整備 吉原用水地区 基礎調査業務」を実施
- ・令和3年3月22日 基礎調査業務結果の打合せ(地元1、県2、町2名)
- ・令和3年7月～令和4年3月
県、「県単独農業農村整備 吉原用水地区 基本計画作成業務」を実施
- ・令和3年9月21日
基本計画作成に伴う現地調査(地元3、県3、町3名)
- ・令和4年3月～
県、「県単独農業農村整備 吉原用水地区 計画策定業務」を実施中
- ・令和4年5月30日
基本計画作成業務結果の打合せ(地元4、県1、町3名)

■状況写真■



取水口付近（土砂履き施設）



水路からの吸出しによる被災



用水管理用通路の欠損
（大桑ゲート 付近）



老朽化する水門施設（操作不能）



地元関係者との打合せ

農地整備事業(東中野新地区)の進捗について

東中野新、宮路、岩嶺寺および横江野開の一部は、未整備田であり、農道も狭く変形地、小区画なことから大型機械による営農が困難なうえ、用排水路施設の老朽化が著しく、維持管理に多大な労力を要していると認識しています。また、担い手不足による後継者問題に直面しており、農業経営の持続が、大変厳しい状況とも聞いています。

当地区は、県道富山立山公園線(俗称：下田バイパス)が農地の中央を走り、いくらかの不耕作地が景観を損ねていることから、観光道路沿いの農地として、改善していく必要があると考えています。

現在、約30ヘクタールと事業規模が大きいこと、用排水系統の見直し等の課題が多いことから、町が県の支援を受けながら、農地の大区画化に向けた取り組みを継続しているところです。大区画化に伴い①高収益作物(野菜や果樹)への転換②担い手農家等に農地集約③立山町土地改良区へ加入等の課題がありますが、地元説明会や座談会を重ね、課題解決に取り組んでいるところです。引き続き、県及び関係機関と連携し、町の重点要望にも位置づけながら、早期に国の事業採択となるよう努めてまいります。

■これまでの取り組み■

- ・平成30年7月1日 立山南部地区農地整備事業推進協議会が設立
- ・ 11月14日 地元説明会(第1回)[地元22、県2、立山土改1、町2名]
- ・令和2年6月24日 地元説明会(第2回)[地元30、県2、立山土改1、町3名]
- ・令和3年8月～令和3年10月 県、「県単独農業農村整備 東中野新地区 基礎調査業務」を実施
- ・ 11月15日 地元説明会(第3回)[地元9、県3、県土連2、立山土改2、町2名]
- ・令和4年2月17日 基礎調査業務結果打合せ[地元1、県3、町1名]
- ・ 7月1日 地元説明会(第4回)[地元14、県3、立山土改2、農協1、町4名]
- ・ 7月26日 生き物調査[立山小4年18名ほか]※事業に伴う環境配慮の観点より



